

業績目録 (平成28年)

教室・部門名 感染病態学教室

(A-a) 英文著書

(A-b) 和文著書

- 1 世古口 悟ほか. 肝アニサキス症の一例. 肝臓 Vol157(2016)p. 577-585

(B-a) 英文総説

(B-b) 和文総説

(C-a) 英文原著

- 1 Elgendy EM, Watanabe Y, Daidoji T, Arai Y, Ikuta K, Ibrahim MS, Nakaya T. Genetic characterization of highly pathogenic avian influenza H5N1 viruses isolated from naturally infected pigeons in Egypt. *Virus Genes*. 2016 Dec;52(6):867-871. (IF=1.431)
- 2 Hirose R, Daidoji T, Naito Y, Watanabe Y, Arai Y, Oda T, Konishi H, Yamawaki M, Itoh Y, Nakaya T. Long-term detection of seasonal influenza RNA in faeces and intestine. *Clin Microbiol Infect*. 2016 Sep;22(9):813.e1-813.e7. doi: 10.1016/j.cmi.2016.06.015. Epub 2016 Jul 15. (IF=5.292)
- 3 Arai Y, Kawashita N, Daidoji T, Ibrahim MS, El-Gendy EM, Takagi T, Takahashi K, Suzuki Y, Ikuta K, Nakaya T, Shioda T, Watanabe Y. Novel Polymerase Gene Mutations for Human Adaptation in Clinical Isolates of Avian H5N1 Influenza Viruses. *PLoS Pathog*. 2016 Apr 20;12(4):e1005583. doi: 10.1371/journal.ppat.1005583 (IF=6.608)

(C-b) 和文原著

(D) 学会発表

I) 特別講演、教育講演等

- 1 中屋 隆明. 教育講演 高速シーケンス技術と輸血感染症検査. 第64回日本輸血細胞治療学会総会、2016年4月28日～30日、京都市.
- 2 中屋 隆明. 特別講演 次世代シーケンサーを用いたウイルス学研究の発展. 第31回中国四国ウイルス研究会、2016年7月9日～10日、鳥取市.

II) シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション等

III) 国際学会における一般発表

- 1 Yasuha Arai, Nohihito Kawashita, Tomo Daidoji, Madiha Ibrahim, Emad Elgendy, Kazuo Takahashi, Yasuo Suzuki, Kazuyohi Ikuta, Takaaki Nakaya, Tatduo Shioda, Yohei Watanabe. Novel Polymerase Gene Mutations for Human Adaptation in Clinical Isolates of Avian H5N1 Influenza Viruses. The 11th Japan-China International Conference of Virology. July 1-2, 2016, Kagawa.
- 2 Tomo Daidoji, Yohei Watanabe, Emad M. Elgendy, Madiha S. Ibrahim, Kazuyoshi Ikuta, Takaaki Nakaya. H5N1 viruses broaden their cell tropism in humans. The 11th Japan-China International Conference of Virology. July 1-2, 2016, Kagawa.
- 3 Hirose R, Yoshida N, Naito Y. The efficacy and safety of Cold snare polypectomy for LST. The 91st Congress of JGES 2016. March 12-14, 2016, Tokyo.
- 4 Watanabe Y. Characterization of H5N1 influenza virus variants with HA mutations selected during the viral replication in human airway epithelial cells. Egypt-Japan First Forum. The Year of Education and Research Collaboration. Dec 25, 2016, Damanhour, Egypt.
- 5 Watanabe Y. The Kaizen way to self-improvement. Egypt-Japan First Forum. The Year of Education and Research Collaboration. Dec 25, 2016, Damanhour, Egypt.

E 研究助成(競争的研究助成金)

総額 5,340 万円

公的助成

代表(総額)・小計 1,620 万円

- 1 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (B) 平成 27～29 年度
H5N1 鳥インフルエンザウイルス流行地におけるウイルス進化とヒト感染
リスク評価 助成金額 400 万円
- 2 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (C) 平成 27～30 年度
鳥インフルエンザウイルスが患者体内で獲得するヒト適応化分子機構の
解明 助成金額 130 万円
- 3 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (C) 平成 27～30 年度
細胞エンドソーム内 pH 制御機構に基づいた鳥インフルエンザの感染メカ
ニズムの解明 助成金額 160 万円
- 4 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (B) 平成 27～30 年度
中東地域における H5N1 鳥インフルエンザウイルス新型株早期検出とパン
デミック阻止 助成金額 240 万円
- 5 JSPS 研究拠点形成事業(B. アジア・アフリカ学術基盤形成型) 平成 28～
30 年度
エジプト・アジアと連携した人獣共通感染症研究の拠点形成と次世代リー
ダー育成 助成金額 640 万円
- 6 京都府公立大学法人若手研究者育成支援費 平成 28 年度
粘液に含まれる病原体に対する消毒薬の効果判定と粘液による耐性獲得
のメカニズム解析 助成金額 50 万円

分担(総額)・小計 3,140 万円

- 1 農林水産省委託事業 プロジェクト研究 海外からの侵入が危惧される重
要家畜疾病の侵入・まん延の防止技術の開発 平成 25～29 年度
新規ウイルスベクターを用いた鳥インフルエンザワクチンの開発 助成
金額 410 万円
- 2 戦略的創造研究推進事業(CREST) 平成 27～32 年度
二次元機能性原子・分子薄膜の創製と利用に資する基盤技術の創出
糖鎖機能化グラフェンを用いた二次元生体モデルプラットフォームの創
成 助成金額 2,580 万円
- 3 JST 研究成果展開事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム) 平成 28
年度
ペプチドライブラリーを用いたウイルスセンシングシステムのための調
査研究 助成金額 150 万円

財団等からの助成

代表(総額)・小計 580 万円

- 1 武田科学振興財団医学系研究奨励 平成 28～29 年度
ヒト呼吸器上皮細胞株を用いた鳥インフルエンザウイルスの病態解析
助成金額 200 万円
- 2 公益財団法人上原記念生命科学財団 平成 28 年度研究助成(研究奨励金)
平成 28～29 年度
インフルエンザウイルスのヒト適応化分子機構の解明 助成金額 200 万円
- 3 グラクソスミスクライン(GSK)ジャパン研究助成 平成 28～29 年度
宿主適応化モデルウイルスを用いた新規抗インフルエンザ治療薬リード
化合物の探索 助成金額 180 万円